大阪で社会主義者二十余名の検束
（旅館で何事か密議中に）

大阪今宮署では七日[illegible]大杉栄外[illegible]時半頃八方に手配し[illegible]和田久太郎、岩佐作太郎、近藤憲二[illegible]（以上東京から来阪）逸見直造、西田勇雄、山田正一等（以上大阪）外市内各方面から約二十名の同主義者を検束し徹宵取調べを続けたが為に同署内は検束者で溢れん計りで口々に革命歌を高唱し大混乱を呈して居るが事件の内容は堅く秘して居る不穏の宣伝ビラの撒布計画が発覚したものらしく大杉は数日前今宿なる伊藤野枝の実家に赴き七日朝博多発同日午後五時着阪したのである（七日大阪電）

大杉栄外廿六名の取調

大杉栄外廿六名のものは[illegible]高等課及今宮署[illegible]八日午前[illegible]七時[illegible]分一列車で京都に向った（大阪）

主義者京都へ
京都の大警戒

[illegible]大杉一派[illegible]京都府警察部では大警戒を始めた（京都）

大杉栄氏の煽動的演説中止

【京都】大杉栄氏は昨夜[illegible]八幡市[illegible]

大杉氏等五十名旅館で検束さる
旅館で何事か密議中
署内で革命歌を叫び大混雑

大阪今宮署では七日夕刻から俄然大活動を開始し八方大捜査の結果同夜九時半頃府下東成郡今宮町四四二旅館某の家方に会合密議中の社会主義者大杉栄、近藤憲二、（以和田久太郎、岩佐作太郎、渡辺満三、武田上東京から来阪）逸見直造、傳次郎、西田勇雄、山田正一等（以上大阪）外市内各方面から約五十名の同主義者を検束し徹宵捜査を挙げて徹夜取調を続けたが為に同署内は検束者で溢れん計りで口々に革命歌を高唱し大混乱を呈して居る事件の内容は堅く秘して居るが不穏の宣伝ビラの撒布計画が発覚したものらしく大杉は数日前今宿なる伊藤野枝の実家に赴き七日朝博多発同日午後五時着阪したものである（七日、大阪電）

興津の園公邸へ恐ろしい手紙
一家の驚き——其筋の大警戒

静岡県興津町の別邸に静養中なる西園寺公望公の許へ六日脅迫すべき猛烈な不穏の書面を送込んだので一家驚き上りて同日から同県警察部から増田警部以下数名出張警戒に努め一方汽車で往復する無頼漢の行動に細心の注意を払って居る（七日、静岡電）

大杉一派大阪へ？
当局の物々しい警戒振り

堺市に開催中の日本労友会主催の一周年記念労働者大会に現れてその演説の調子を緩めさせた大杉栄氏一派は五日夜[illegible]が六日夜大阪に入り込んだ形跡あり、一行は大杉氏並に[illegible]作太郎、和田久太郎、荒畑寒村氏外数名で府特高課では市内各署に厳達して潜伏所を捜査すると共に七日夜仲之島公会堂で開かれる思想問題講演会及び天王寺公会堂の市電従業員演説会に同氏等が現れるかも知れぬと云ふので物々しく警戒してゐる

ゲタ政府から多額の宣伝費
日本、支那、朝鮮の手を経て日本へもぐり込む

最近東京在住の社会主義者達が西下する者多く殊に或巨頭の如きは既に九州方面に於て盛んに活動中であると云ふので

その筋では大いに警戒中であるが青島大松町四番地セミヨノフ軍ファナシェフ中将附歩官ゼローフより漏れた話によればゲタ過激派政府宣伝部は支那に於ては多額の宣伝費を日本、支那の過激主義者に分配すべくハルビンを経由した多数の金塊を奉天在住の宣伝部員に送ったので

彼等は天津に赴いて日本及支那の紙幣と取替へ奉天に引返した、そこで既に支那の各地に宣伝部の手を経て分配されたと云ふが日本に対しては奉天から露国人及朝鮮人を利用して安東県、新義州等に於て日本の過激宣伝部員及日本の社会主義者の手に渡したと云ふこれを内地に持込むについては彼等は非常に巧な構造法を用ゐ郵送するにはトランクや

靴の中に入れて持ち運ぶのでその発見は困難であると云ふが西下せる社会主義者もこれに関係あるらしく伝へられてゐる

不穏文書を道路で拾ふ

[illegible]は七日午後一時頃大阪北[illegible]町の道路にて不穏文書を拾得し直ちに曽根崎署に届出でし結果府特別高等課では市内各署に該不穏文書の出所を捜査すべき旨命じたが目下大杉栄が潜伏中として警戒頗る厳重を極めてゐる（大阪電話）

赤心団の対抗

[illegible]

[illegible]
警視庁で[illegible]書者を厳探

[illegible]

大杉栄氏

[illegible]